

大学からJ1へ挑戦!

ジェフ駒大3人衆に 突撃インタビュー

今年はジェフが熱い 3人のそれぞれのJ挑戦

駒大を支えた3選手が今、ジェフで新たなステップを迎えようとしている。巻は新人ながらも公式戦デビューを飾り、小林も公式戦デビューを飾った。金もあと少しのところまできているという。Jへの挑戦、それがどんなものなのか本人たちに聞いてきた。

巻「原と弟は昔の俺と深井みたいだね」

「今日、練習試合をしてみて今年の駒大はどんな印象をもたれましたか?」(※取材は3月16日の練習試合後、結果は1本目0・2、2本目4・1と駒大の勝利) 小林 今年のチームも相変わらず頑張るという印象ですね。前半は身長(の)大きな選手が前線にいてどうやって攻めるのか迷いがあつたように感じました。後半は巻の弟(佑樹)が出て来てターゲットが出来たから駒大らしい、いいサッカーが出来たかと思えます。やってやりづらかったです。巻 やりたいことがはつきりして今年もいいチームになりそうです。金 いいですね。

小林 おい!それだけかよ。金 いや、みんな頑張ってる運動量もあっていいんじゃないっすかね。

「今日、大活躍だった1年生2トップについては何?」(※原、巻共に2得点の大活躍) 巻 1年目の寺尾と深井を見て



きん いまみ / 1979年6月23日。176センチ 66kg。東京朝鮮高校出身。駒大時代はスーパーサブとして活躍。チームのムードメーカーとしてインカレ優勝などに貢献した。運動量の豊富なプレーヤーで途中から出て流れを変えられることの出来る選手

じがした。原はテクニックも合ってるし、リードもあるし。何より頑張るよね。佑樹くんは巻さんの一年の頃より足技が優れていると監督は言っていましたよ(笑)



まき せいいちろう / 1980年8月7日。184センチ 74kg。大津高校出身。大学時代は1年生の頃からエースとして活躍。去年のリーグ戦初優勝におおきく貢献。深井(鹿島)と共に得点王にも輝いた。

「位漫さんは今年公式戦に出れそうですか?」



こばやし てるあき / 1979年6月20日。184センチ 73kg。波崎柳川高校出身。おとしの駒大のキャプテン。駒大在学時にはインカレ優勝などに貢献した。長身を活かしたヘディングには絶対の自信をもち、前線へのフィードも正確。

JEF

金「今年は見てください」

「全日本大学選抜のチームメイトである阿部吉朗選手(FC東京)は得点を決めましたが刺激になりますか?」 巻 刺激にはなりません。でも、僕と彼(笑)は役割も違うし、僕はチームのためにき

小林「今年は2年目だし、結果が求められると思う」

「ジェフの環境についてはどうですか?」 金 いいんじゃないんですか。サッカーに打ち込める環境だし。巻 俺的にはチェヨンとかお手本になる選手がいるから学ぶこともおおいし、刺激にもなる。小林 2年目ということでは最後に各々の今年の目標を!

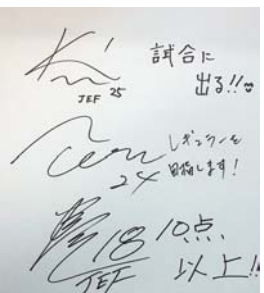
巻 1年目ですけど臆することなくレギュラーを狙っていきたいです。そして得点もどん欲にねらっていききたいです。金 とにかく試合に出ること。試合に出ないの評価されたいし、今年には本当に見てほしい。(笑)

PRESENT

3人の今年の決意を書いた色紙を3名様に!!

今年、大ブレイク間違いなしの3人のサインを抽選で3名様にプレゼント。この貴重なサインが欲しい方はEメールに氏名、住所、電話番号、本誌への意見・感想を明記の上、下記のアドレスまでお送りください(携帯電話からのアクセスも可能ですのでお気軽にお送りください)。当選者の発表は発送を持ってかえさせていただきます。締め切りは4月18日(金)までとさせていただきます。ご応募お待ちしております。

アドレス: forzakomazawa@hotmail.com



深井、三上も続々公式戦デビュー



▲デビューを果たした。深井(写真)にゴールがうまれるのも時間の問題だらう

公式戦デビューを果たしたのは何も巻、小林だけではない。鹿島の深井正樹もAFCチャンピオンズリーグで公式戦デビューを飾り、Jリーグの開幕戦でも出場を果たし得点を呼び込むプレーで勝利に貢献した。浦和の三上卓哉も去年の天皇杯でデビューすると今年もナビスコカップで安定したプレーを見せた。J2でも桜井繁が山形でレギュラーポジションを獲得し、これからも駒大OBの活躍から目が離せそうにもない。駒大出身の選手が今年はJに旋風を巻き起こす!